

研究成果情報		園 芸	1 6	花 き・花 木	栽 培
新技術・情報名	ソリダスターの9～11月及び4～5月 出し栽培法			分 類	①

1. 成果の内容

1) 技術・情報の内容及び特徴

ソリダスターの9～11月及び4～5月出し栽培における電照、苗の低温処理及び栽培温度の影響を明らかにし、作型を確立した。

(1) ソリダスターは長日によって抽台を開始し、一定の生育を経た後に発
蓄・開花する。

(2) 9～11月出し栽培は、5月下旬に定植した株を7月下旬～8月上旬に刈込
み、株元から出る側枝を伸長、開花させる。電照は深夜3時間の暗期中断
処理とし、株の刈込み後5～7週間行って栽培すると茎葉の伸長が優れ、
消灯後35～40日で開花する。

(3) 4～5月出し栽培は、2.5℃・3週間の低温処理を行った苗を12月下旬～1
月下旬に定植し、電照を行うとともに、夜間最低13℃で管理する。

2) 技術・情報の適用効果

電照による秋出し及び春出し栽培は切花品質が優れ、価格も高いので、
草花栽培の経営改善に有効である。

3) 適用範囲

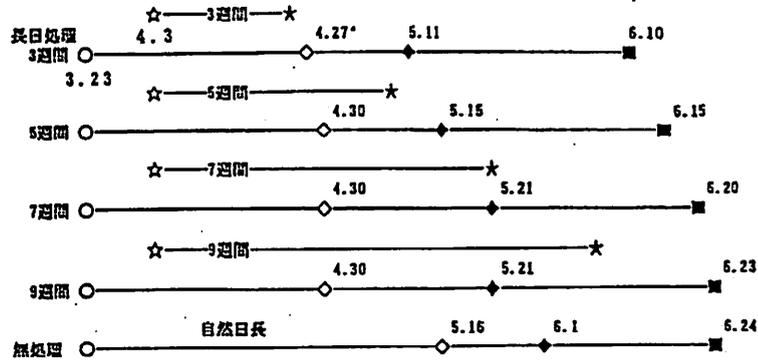
県内全域の草花栽培地域

4) 成果の利活用・普及指導上の留意点

(1) 4～5月出し栽培は、定植後にトンネル被覆を行って床の乾燥防止と保
温に努めると、生育開花の揃いがよくなる。

(2) 低温多湿条件では苗に赤サビ病が発生しやすいので注意する。

2. 具体的データ



○:月.日, ○:定植, ◇:花芽分化, ◆:発芽, ■:開花, ☆:電照開始, ★:消灯

図1 長日処理期間が花芽分化・発芽及び開花期に及ぼす影響(平成2年)

注) ① 電照方法: 深夜3時間の暗期中断処理

表1 刈込み時期及び電照期間が開花及び開花時の諸形質に及ぼす影響(平成元年)

刈込み時期	電照期間	平均開花日	切花長 cm	切花重量 g	節数
月.日	週間	月.日	cm	g	
無処理	0	8.29	60.3	39.9	49.1
	3	8.26	62.4	35.6	50.6
	5	9.1	61.9	36.9	51.6
	7	9.8	57.6	41.7	50.1
7.19	0	9.18	65.3	37.5	50.7
	3	10.10	78.1	32.6	45.9
	5	10.12	74.9	36.0	43.6
	7	10.21	79.6	42.0	45.3
8.9	0	-	-	-	-
	3	10.27	67.7	26.7	42.8
	5	10.28	70.3	36.7	41.2
	7	11.4	73.1	31.4	43.5

注) ① 定植: 5月24日
 ② 電照方法: 8月9日より深夜4時間の暗期中断処理
 ③ 8月9日刈込みの無電照区はすべてロゼット化

表2 苗の低温処理及び栽培温度が抽台・開花及び開花時の諸形質に及ぼす影響(平成2年)

定植日	栽培温度	低温処理期間	平均抽台日	平均開花日	切花長 cm	切花重量 g	節数
月.日	週間	月.日	月.日	cm	g		
12.20	13℃	0	2.17	5.12	62.2	40.8	49.5
		3	2.9	4.20	65.9	35.1	45.7
		5	2.5	4.15	66.5	41.2	46.5
	9℃	0	3.14	5.22	75.1	32.4	55.2
		3	3.8	5.20	76.0	36.1	54.8
		5	3.4	5.19	84.8	55.3	57.4
1.20	13℃	0	3.15	5.20	59.5	26.7	51.3
		3	3.10	5.13	62.8	36.9	50.0
		5	3.6	5.10	68.2	38.5	50.2
	9℃	0	3.31	6.2	58.1	25.9	51.1
		3	3.24	5.28	73.3	34.0	55.6
		5	3.13	5.26	84.3	37.6	56.8

注) ① 低温処理方法: 2.5℃の冷蔵庫に貯蔵
 ② 電照方法: 定植後より深夜3時間の暗期中断処理。同一温度条件の中で最も早い生育区の草丈が60cmを目安に消灯

3. その他特記事項

担当部科室名 : 園芸研究所 野菜花き部 花き花木研究室
 研究担当者名 : 谷川孝弘, 小林泰生
 研究課題名 : 宿根花きの開花調節
 期間 : 平成元年～平成2年
 予算区分 : 経常
 既発表論文・資料名等 : 福岡県農業総合試験場園芸研究所
 花き花木試験成績書・平成元～2年度
 取りまとめ責任者名 : 谷川孝弘